

2016-0728 薄井達也さん、庄子康裕さん

笹崎の番組記事作成用の未編集メモです。自分用のため未整理で乱雑で不正確な点をご容赦ください。この内容の音源ソースや詳細については以下をご覧ください。

http://jobneta.sasamedia.net/2016-07-28_usui_shoji/

1.42

(好彦：まずお一人目のゲストは集客デザイナーの薄井達也さんです) はい。(好彦：そしてもうおひとかた。かんじゃいましたw、経営コンサルタントの庄子康裕さんです) はい、こんばんは、よろしく申し上げます。

2.03

好彦・ちなみに薄井さんの顔が濃いか言わなくていいの今日は？

今日はラジオだから見えないですから(笑)

2.27

「顔は濃いけど薄井です」でちらっとわらってしまった

2.46

薄井さん、デザイナーではなくてなんで集客？

一般的にはグラフィックデザイナーっていうんですけど、そういわれてもピンとこない人が多いと思うんですよね。で、僕らみたいな広告デザイナーに依頼してくる人って、目的は集客であることが多いと思うので、そこで名前付けたほうが伝わりやすいかな、と。

3.31

集客デザイナーってのは、僕は薄井さんご自身の人間性をすごい表しているって思うんですよね。正直、デザイナーとか絵描きの方々って、こう職人肌というか、ちょっとコミュニケーションが得意じゃなかったり、自分の世界を持っている方が多いんですけども、集客っていうとやっぱり、お客様のことを考えないといけないじゃないですか？そういう意味で、薄井さんって話していても、いかにお客さんに喜んでもらうかっていう、あのチラシとかそういうのじゃなくても普段から、相手にどう喜ばれるかっていう視点をお持ちなので、そういう意味ではこの集客デザイナーっていう名前は本当にピッタリだなって、いつもおもっているんですよね(庄子)

4.33

元々、小さいころからデザインに興味があったんですか？(好彦)

親戚関係がみんな、絵、得意な人が多くて、デザインとはまた違うんですけど、やっぱりそういう、絵を描くことを仕事にしたいなっていうところから入ってきましたね

4.45

やっば、絵、メチャメチャ上手いですよね、絶対ね(庄子)

やー、上はいくらでもいるんでね。

4.53

学部学科はどうやって選ばれたの（好彦）

5.06

単純にイラストレーターになるにはどうすればいいのかな？っていうところで調べて、イラストレーターだけで食べていくのは難しいってところで、ちょっとあの一、お隣の分野のグラフィックデザイナーっていうところで、勉強しなくてはいけないっていうところで、東北芸術工科大学のデザイン学科というところを選択したんですね。

5.48

イラストレーターとデザイナーって何が違うんですか？

イラストレーターは、ほんと、イラストを描くだけなんですよ。デザイナーは、そこでいうカレンダーだと、コマだとか数字のフォント選びだとか、カレンダーだと、コマを上を持ってくるのか、下に持ってくるのか、全体構成ってことですね？そうです、そうです。

6.36

昔、薄井さんが言った、いわゆる設計なんですね、デザインって。じゃ、デザイナーって絵は描かないんですか？

6.41

描く人もいます。だからややこしいんですよ。あ、じゃ、混ざっているんですね、そうなんですよ。

7.26

一般的にイメージしやすいのは広告ですね、チラシとかあと名刺、あの紙媒体のものを全部。

7.42

薄井さんて基本的には絵描きのほうが強いんですか？

できればそれ一本でやっていけたら一番理想ですよ。じゃ、デザイナーといいつつも、一番最初はイラストレーターから始まった、みたいな。そう、一番最初は。

8.02

最近になって吉岡のほうのシャッターとか、殿利息でござるのあれですよ？あれ、TV局から依頼をもらったんですって？そうですそうです、すごいですよね、ね、ありがたい、

8.26

あれは完全にシャッターアートというだけに絵の世界ですよ。

8.38

そうそう、ラジオ聞かれている方、ぜひ吉岡の商店街？シャッター27枚ですね、27枚に描かれた、これ実は薄井さんが描かれたんですよーって一杯宣伝して(笑)吉岡行ってみてきてください。

8.53

殿利息でござるという人気の映画、皆さん、見ましたよね、僕もすごく感動しましたがけれど、あれは、宮城県黒川郡大和町の実話の話を元にされているってことで、いまあそこ、映画ののぼり、一杯立ってますよね。で、そこにいくと薄井さんの絵が一杯描かれているっていう。

9.09

僕はそこで生まれたんです。生まれたのはね、黒川郡大和町吉岡で生まれたい。えーそうなんですか！

9.19

で、家は陸上自衛隊大和駐屯地のトイメンあたりにあったらしい。あの当時は井戸水だった記憶が。ご先祖様？いや、オヤジの仕事の関係で吉岡。残念ながら映画とのゆかりはまったくないですけどね(笑)

9.56

あの、シャッターアートだけじゃなくて、最近そのアート系の仕事ってのも結構やっていますよね。はいはい、あの小屋もそうなんですか？

(省略) ちょっと、みんな、わかんないよ？

10.02

あのー、TV番組のひとこまでイラストが必要になるときは、依頼を受けて描くようにしていますね。TV局の仕事ってすごいですよね。

10.55

かなり納期もタイトなので、結構大変ですけど、寝ないで描くときもありますけど。うわー

11.05

(庄子：でも息子さんがパパの絵だーとかいうじゃないですか、それって、すごいうれしいことですよ。父親が子供に自分の仕事見せられるってなかなかないじゃないですか)

TVでしょ、子どもにはオヤジが楽しそうに仕事してたとかっていう風なオヤジ像でいたいんですよ。

11.30

いいなー、それ、ぼく、見せられなかったからなー。いいなー

11.38

だからできるだけ子供の前では楽しそうに仕事することで、大人になることへの夢を持たせたいんですよ。(庄子：薄井さんてこんなカッコいい人だったんですね。)

11.50

たとえばその、ジャンプとかの漫画家になるっていうことも夢かもしれないですけども、今聞いていると、絵を描いて食べていくっていうひとつの理想形は実現しているような気がしましたね。

12.30<リクエスト曲への思い入れ>

僕が高校くらいの時の曲だと思うんですけども、恋愛の曲がたくさんある中、一曲の中に何回もありがとうという言葉が出来るこの曲がすごく好きで、疲れた時とか嫌なことがあったときとかにこの曲を聞くとすごく心が洗われるような気持がするので、すごい、あのー、思い入れがある曲ですね。

13.40

長町の予備校に通われていたときに、

予備校も美術予備校で、僕が絵を描く仕事をしたいと思って行動を起こした場所っていっても過言ではない、(それが長町なんだ) へー。高校の時ですね、夏期講習みたいな。

13.58

アルバイトして泊まって。

あ、薄井さんて仙台の人じゃないので、ちょっといい？

14.14

気仙沼出身と伺っているので、だから長町に来て、ホテルかどっか泊まられて、夏期講習…すごい

ですね、このバイタリティ、本当に好きっていうかやりたいと思ったんだなーって。

14.56

実は薄井さんとコラボのセミナーをやろうかなーと思って、セミナーのお題がね、まさに、薄井さんがやりたいことを実現する、そのためには？っていうお話をしてくださるってことなので、さわりだけ。

15.17

はい、あの一、8月5日金曜日ですね、夜7時からのアエル、仙台市情報産業プラザです。これ、実は3人の協力企画なんですね、で、非常に面白い企画だなーと思って、じゃ、発案者の薄井さんからこれに対する思いとか、語ってもらえたらなーって思います。

15.37

僕が学生の頃とか、イラストで仕事をしたいと思ったときに、どうやってお客さんを集めていいか、全然想像できなかったんですね。で、ブログとか書いていたらいつか、デザイナーの人がとかそのブログを見つけてくれて、みたいな、もう漠然として、もう本当に、白馬の王子様が現れるのを待つかのような想像しかできなかったんですけども、僕はこう、少しやってみて、色々お仕事にする方法を経験してきたので、僕の一時期のような人たちにヒントを与えられるのかなーと思って開催しようと思いました。

16.32

じゃ、セミナーのタイトルと概要をちらっと、佐藤さん、えと一、「イラスト、漫画、アートで収入を得る9つの道筋。大好きな絵であなたが輝く方法」ですね。

で、たくさんの夢のひとつを実現している薄井さんの話だから聞ける、と。（そうですね）

17.03

まず方法的に僕が経験してきたことを、こういう風なつながりで仕事になりましたよーってこともお伝えしながら、僕もまだまだ成長していきたいと思うので、コーチである好彦さんの力も借りながら、もっと成長していくためにはどうすればいいか？っていうのを、公開コーチングという形で開催しよう、と思いますね、

17.41

ま、僕も薄井さんもまだまだ若造で走り出したばかりの起業家ですからね、好彦さんのコーチの実力で、収入をより、ま、これからね、もっと加速してくために能力を伸ばしてもらおうという、はい、じゃ好彦さんのほうから、第二部。

17.54

えーっとですね、私も公開コーチングってやるの、初めてなんですよ、で、僕は、コーチングセミナーってのはやったことがないので、普通のセミナーはやるんですけども、そん中で今回、あの、普通ね、公開コーチングっていうと、10分ぐらいでひとつのテーマで、ある程度クライアントさん役になってくださる方、会場の方を目の前にしてやるんですけども、今回は、ちょっとやりづらいなのは、目の前(笑)、薄井さんがね、よく知っている薄井さんにかつ、公開コーチングをするというところがちょっと、わたくしにとってはプレッシャーかな。

18.52

じゃ、余裕そうに見えて、好彦さんもちょっとチャレンジというか、（そういう意味ではチャレンジですね）

18.53

ま、僕とか好彦さんはね、セミナーかは相当慣れてますけど、薄井さんはまだ、セミナー慣れしているっていうわけでもないですもんね、（まだ二桁やってないですねー）

結構緊張してますか？

19.06

あーでも、楽しみな方が強いですよ。え。（それ大事）

楽しみ、ワクワクがあると来てくださった方に伝わるから、きっといいセミナーになると思う。

19.23

あの一、どんな人に来てもらって、どんな気持ちになってもらって、どういう風に役立ちたいと思っていますか？

19.29

やっぱりこう、自分の絵をいろんな人に見てもらいたい、と、そういう思いが強い人に来て欲しいですね。で、あともう、言っちゃうんですけど、参加者の中には、絵で仕事にしたいっていう人だけじゃなくて、デザイナーの人も参加される予定になっているので、プロのデザイナーの方ですか？はい、もうその場でもしかしたら、仕事生まれちゃうかもしれないです。マッチングして。出会いの場にもなるので、ホント、今回の企画は楽しみなんですよ。えー。

20.06

みんながハッピーになれるんじゃないかなーって。

20.10

それからほら、女性の方でも、年配の方でも、お仕事別に持っていらっしゃる方でも、薄井さんのね、思っているかな、好きなことでお金を得るっていうそのテーマに惹かれて参加されるっていう方もいらっしゃるから、特別絵にこだわらなくてもきっと、いいお話を聞くことができるのかな？って思うんですけども、

20.43

なんか、好きなことで生きていくってなんかYoutubeみたいですね、なんかいま、キャッチコピー、すごい、カッコよかったですね。

20.43

ああ、だって、僕は好きなことで生きていくのがやっぱりいいかなって思うし、（あ、もしかしたら、このセミナーのテーマってそこかもしれないですね）

21.52

すごい反響良くて、もう残席2名って。（ハードル高いのに）ハードルって、ああ、8月5日ってこれ、花火大会(笑)

だって何も考えないでこの日、会場空いているから、なんで会場空いてんだろ？みたいな。

22.01

でみたら、確かに8月5日って、ほとんどどこでもセミナーってやってないんだわ。

22.06

じつはこれ、一かい満席になって、それで定員増やして、それで残席2名ですから、ありがたいで

すよね。

22.35

すごいね、喜んでもらえるように頑張りたいですよね。

24.44

絵ってあのすごい楽しいもので人生をよくするものだと思うので、それをみんなで共有し合えるような、会になればいいなと思います